

東京家政大学の取り組み

東京家政大学健康科学部リハビリテーション学

科(埼玉県狭山市)は昨年度から、1〜2年生の

教育プログラム「基礎教養科目目から形成する人と信頼関係を築く多角的コミュニケーション力」を

展開している。同学科の学生は作業療法士、理学療法士として障がいのある児者の活動や社会参加を支援するために、高いコミュニケーション力を

加えて支援するために、高いコミュニケーション力を加えて支援するために、高いコミュニケーション力を

加えて支援するために、高いコミュニケーション力を加えて支援するために、高いコミュニケーション力を

加えて支援するために、高いコミュニケーション力を加えて支援するために、高いコミュニケーション力を

加えて支援するために、高いコミュニケーション力を加えて支援するために、高いコミュニケーション力を

加えて支援するために、高いコミュニケーション力を加えて支援するために、高いコミュニケーション力を



米津学科長

度から1〜4「優しさ」を最大限に高

めることに寄与する独自の

団の2023年度「21世紀型教養教育プログラ

ム」に選ばれ、同助成の

枠組みを活用して1〜2

年生の授業として展開

し、3〜4年生の実習に

ついて同プログラムで学

んだことを生かせるよう

にした。

初年度は1年生74人を

対象に8〜9人体制のゼ

ミを9グループ設置し、

学内の専任教員3人と外

部講師2人で学修を支援

した。

今年1月25日に附属高校



写真1:1年生のコミュニケーション研修会



写真2:学内交流会でのポスター発表

コミュニケーション力育成へプログラム展開

医療従事者として人と信頼築ける人格形成

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。

今年度は、昨年度と同

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。

「自分の考えを示したるなどコミュニケーションの上で、他者の考えをどのように取り入れ、一つの考えにまとめるか」と述べる。